

開館一周年記念

一九九六年十月一日(火)―十一月十六日(土)

主催・千葉市美術館 (財)細見美術財団

NHK千葉放送局 NHKプロモーション

後援・文化庁

観覧料・一般/一〇〇〇(八〇〇)円

大・高生/七〇〇(五六〇)円

中・小生/三〇〇(二四〇)円

(内は団体予約料を含む)



細見コレクションの全貌と、ポストン、クリーブランド、サツクラの話題作

珠玉の日本美術

The Legacy of Japanese Art

千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

開館一周年記念

The Legacy of Japanese Art

珠玉の日本美術

千葉市美術館

細見コレクションの全貌と、ポストン、クリーブランド、サククラの話題作

千葉市美術館は、昨年十一月三日にオープンし、今秋で、開館一周年を迎えます。本展は、この機会を記念して、広く日本美術の流れを総合的に鑑賞いただくこととするものです。

展示作品の中心となる細見コレクションは、弥生式土器に始まり、平安・鎌倉時代の仏教及び神道美術、根来塗り、室町時代の水墨画と大和絵、桃山時代の装飾美術と茶道具、江戸時代の諸流派の絵画など、ほとんどすべての時代にまたがる絵画、彫刻、工芸、書の作品を網羅した、幅の広さが特色です。その質の高さには定評があり、各分野で特筆すべき作品が数多く含まれています。本展は、このたび、(財)細見美術財団の国による認可を記念する意味も兼ね、この屈指の日本美術コレクションの全貌を一同に公開する、初めての機会となります。コレクションの特色を生かし、重要文化財30点余りを含む約170点の作品をほぼ時代順に配置して、日本美術の流れとその特徴が、おのずから理解できるように構成いたしました。

加えて、クリーブランド美術館、ポストン美術館、ハーバード大学付属サククラ美術館から、近年注目されている作品や四半世紀ぶりに里帰りする作品など、それぞれに話題を呼ぶ作品が出品されることは、展示の魅力を一層高めることでしょう。

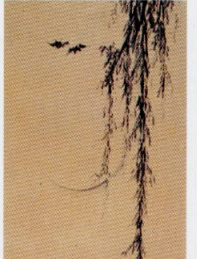
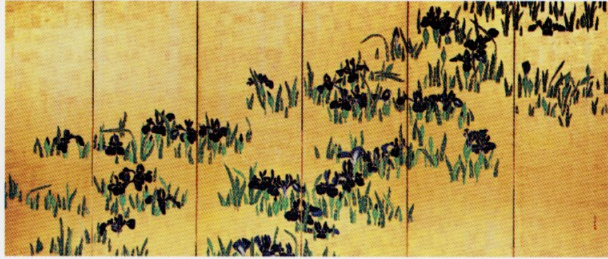
会期中、日本美術の全体的な特質を長年深く考察され、これに関するすぐれた著述を発表してこられた、もとクリーブランド美術館館長シャーマン・リー博士による特別講演会を行います。



「吉野花見図屏風」 六曲一双 桃山時代(重要文化財)



渡辺始興「燕子花図屏風」 六曲一双 クリーブランド美術館蔵 江戸時代



「金銅春日鹿御正体」 一軀 南北朝時代(重要文化財)



「結城合戦絵巻」 一巻 室町時代(重要文化財)



「金銅透影尾長鳥唐草文華鬘」 一面 平安末~鎌倉時代初期(重要文化財)



葛飾北斎「夜鷹図」 一幅 江戸時代



「志野橋文茶碗 銘弁慶」 一口 桃山時代

【期間中の行事】

- 特別講演会 10月27日(日)午後2時より千葉市美術館11階講堂
講師：シャーマン・リー(元クリーブランド美術館館長/美術史家)
演題：「日本美術における芸術的想像力」(通訳付)
- 講演会 10月13日(日)午後2時より千葉市美術館11階講堂
講師：辻 惟雄(千葉市美術館館長)
演題：「珠玉の日本美術」展について izzureも聴講無料
- 開館一周年記念さや堂コンサート
11月2日(土)午後2時より千葉市美術館1階さや堂ホール
出演：福田進一(ギター)
鈴木理恵子(ヴァイオリン)
和谷泰扶(ハーモニカ) 本展の入場券をお示し下さい。
いづれも9月15日(日)より、電話及び千葉市美術館8階
チケットカウンターにて受付申込順に150名まで受け付け。
空席があれば当日参加も可。
- ギャラリートーク 10月15日(火)/11月1日(金)午後2時より
講師：千葉市美術館学芸員 イベントに関する問い合わせは美術館まで

千葉市美術館 〒260 千葉市中央区中央3-10-8

TEL.043-221-2311(代)

展覧会のご案内：ハローダイヤル TEL.043-227-8600

- JR総武線千葉駅東口より徒歩約15分
- JR千葉駅前から
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)か
- 小湊バス姉崎行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 無料シャトルバス「チーバス」(のりば⑯)
- 11:00-18:00の毎時05分と35分に出発(水曜日運休)
- 「中央区役所・美術館前」下車
- 京成千葉中央駅より徒歩約10分

